



様式第10号（第14条関係）

令和7年6月2日

令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 鳥取市国府町宮下192-2

団体名 国府文化協会

代表者職・氏名 会長 上山忠久

令和6年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和6年度合計 60,000円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書＜様式第10号の2＞
- (2) 寄附金活用収支決算書＜様式第10号の3＞
- (3) その他参考資料

令和6年度寄附金活用実績報告書

事業名	没後50年を記念して 鳥取市国府町出身の「文化人野村愛正」の顕彰事業
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や 人数、実施方法等を 具体的に記入。	期間：令和6年4月～令和7年3月 場所：鳥取市内 対象者：当会の会員15名 内容：鳥取市国府町にゆかりのある文化人、あるいは存在する文化財の周知を行うための講演会、研究会や文化財等の保存、ゆかりの文化人の顕彰等、地方文化の向上・発展を図るための事業を行う。 ① 野村愛正顕彰の冊子作成 ② 愛正の著作本を収集し、愛正文庫を設置 ③ 愛正町づくりフォーラムを開催
事業実施の 成果・効果 (見込み)	① 顕彰する冊子は、原稿を集め、試作本として35部を作成し、関係者や会員に配布。校正を行い、令和7年度の事業で正式印刷することとした。 ② 著作本の収集は、ネットで28冊の中古本を購入。鳥取市国府町教育委員会に寄贈し、国府町コミュニティセンターロビーに令和6年6月に愛正文庫として開設された。 ③ 令和6年6月17日、谷地区公民館に於いて、50名が参加して愛正を顕彰しまちづくりにどう生かすかフォーラムを開催した。平成19年に終了した野村愛正文学奨励賞の復活が提議された。また、日本海新聞にも、2度フォーラム開催の記事が掲載され愛正事業のPRとなった。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和6年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	60,000	
自己資金	5,685	
収入 計	65,685	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
雑費	42,287	愛正著作 28 冊の購入
印刷製本費	15,312	試作本 35 部の印刷
通信運搬費	570	お礼状郵送料
消耗品費	7,516	コピー、インク代
支出 計	65,685	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。